

令和 6 年 度

公 営 企 業 会 計 決 算 資 料

福井県流域下水道事業

土 木 部

項 目	頁
流域下水道事業会計における決算状況について	
1 損益収支の状況	3
2 今後の経営状況	4
3 事業収益の状況	4
4 事業費用の状況	5
5 企業債残高の推移	5

令和6年度 福井県流域下水道事業会計における決算の状況について

1 損益収支の状況

令和6年度の流域下水道事業会計については、事業収益が24億7,364万6千円、事業費用が25億9,000万4千円となり、1億1,635万8千円の純損失が生じた。主な要因は固定資産の減価償却にかかる減価償却費（営業費用）と長期前受金戻入（営業外収益）の差額であるが、これらは現金を伴わない収支である。

流域関連3市の負担が大きくなるよう下水道事業特別会計から引き継いだ繰越金を戦略的に活用しており、令和6年度末の繰越金残高は8,100万円減少し、7億9,300万円となった。

(単位：千円)

事業収益		事業費用	
営業収益	851,384	営業費用	2,562,018
営業外収益	1,622,261	営業外費用	27,986
計	2,473,646	計	2,590,004
純損失		116,358	
前年度繰越欠損金		534,752	
当年度未処理欠損金		651,110	
欠損金処理		0	
繰越欠損金		651,110	

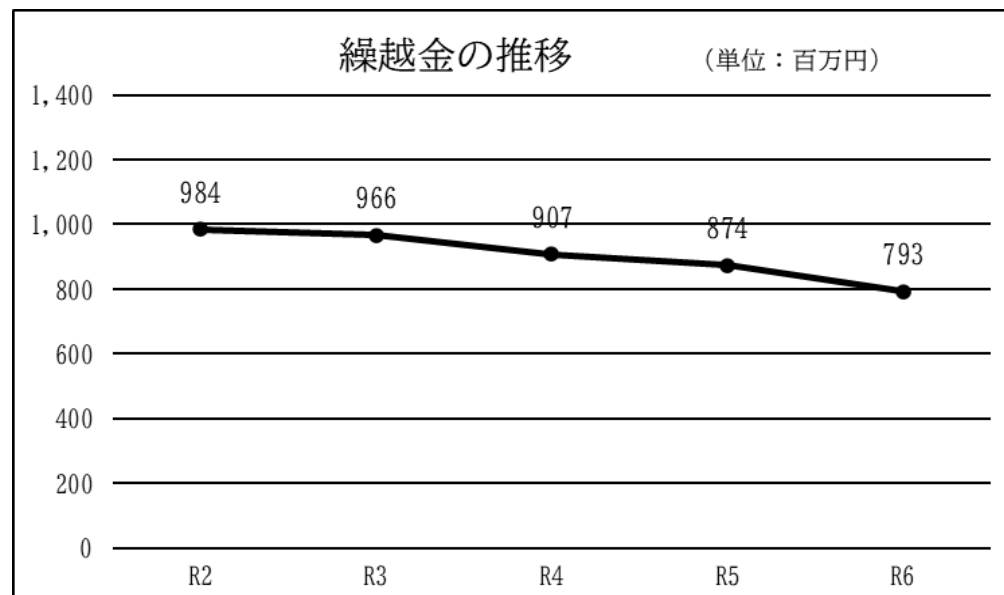
純損失と未処理欠損金の推移

(単位：千円、%)

区 分	年 度		対前年度比	
	6	5	増減額	増減率
純損失	116,358	99,823	16,535	△ 16.6
当年度未処理欠損金	651,110	534,752	116,358	△ 21.8

繰越金の推移

(単位：百万円)



(単位：百万円)

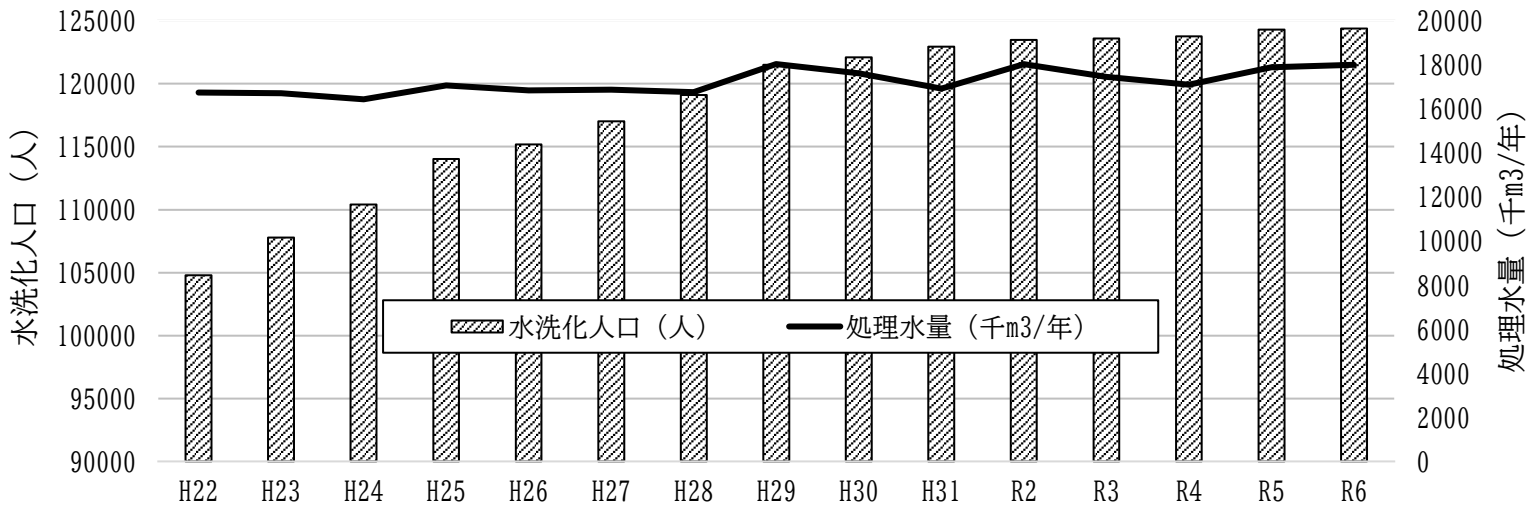
	R2	R3	R4	R5	R6
繰越金	984	966	907	874	793
増減	△ 12	△ 18	△ 59	△ 33	△ 81

2 今後の経営状況

令和6年度は処理水量が増加となった。近年の処理水量は横ばいが続いているが、今後は人口減少等に伴い減少が見込まれるため、維持管理にかかる費用の一層のコスト縮減に取り組みながら計画的な施設の管理や更新等の実施に努め、健全な経営を目指していく。

水洗化人口と処理水量の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
水洗化人口（人）	104,795	107,790	110,398	114,025	115,196	117,022	119,105	121,515	122,107	122,958	123,479	123,597	123,758	124,301	124,381
処理水量（千m3/年）	16,747	16,721	16,439	17,072	16,851	16,880	16,766	18,031	17,623	16,932	18,035	17,450	17,099	17,900	18,010



3 事業収益の状況

営業収益は、流域関連3市からの維持管理負担金を計上している。令和6年度の営業収益は8億5,138万4千円となり、前年度に比べ5,210万円増加した。これは流入汚水量の増加によるものである。

営業外収益は、補助金等を計上している。令和6年度の営業外収益は16億2,226万1千円となり、前年度に比べ2,471万7千円減少した。これは減価償却費の収益化に伴う長期前受金戻入の減少によるものである。

(単位：千円、%)				
区分 \ 年度	6	5	対前年度比	
			増減額	増減率
営業収益	851,384	846,174	5,210	0.6
営業外収益	1,622,261	1,646,978	△ 24,717	△ 1.5
合計	2,473,646	2,493,152	△ 19,506	△ 0.8

4 事業費用の状況

営業費用は、九頭竜川流域下水道の維持管理費や減価償却費を計上している。令和6年度の営業費用は25億6,201万8千円となり、前年度に比べ173万5千円減少した。

これは主に固定資産除却費の減少によるものである。

営業外費用は、企業債の支払利息を計上している。令和6年度の営業外費用は2,798万6千円となり、前年度に比べ123万7千円減少した。

(単位：千円、%)

区分 \ 年度	6	5	対前年度比	
			増減額	増減率
営業費用	2,562,018	2,563,753	△ 1,735	△ 0.1
営業外費用	27,986	29,223	△ 1,237	△ 4.2
合計	2,590,004	2,592,976	△ 2,972	△ 0.1

5 企業債残高の推移

企業債残高は公営企業会計を適用する以前から年々減少傾向にあり、令和6年度末は28億1,601万5千円となった。

(単位：千円)

区分 \ 年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
新規借入額	180,300	182,000	161,000	315,000	194,500
償還額	268,751	288,286	297,174	279,460	275,281
企業債残高	3,103,716	2,997,430	2,861,256	2,896,796	2,816,015

